



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2006-07年度 No.22 4月18日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashorc@athena.ocn.ne.jp

URL <http://www.f-take.com/inasho-rotary.htm>

2006-07年度 会長 上田 昭二、幹事 河合 耕一

2006-07年度 RI テーマ



「率先しよう」

(ウィリアム・B・ボイド会長)

本号目次 ①4月4日第1369回例会記録「雑誌月間にちなんで」②GSE 来訪特集

例 会 記 録

① 第1369回例会「雑誌月間にちなんで」

平成19年4月4日(水) 井波文化センター例会場

1. 点鐘
2. ソング「奉仕の理想」
3. 会員卓話「雑誌月間にちなんで」…山本武夫委員長
4. ビジター紹介…中田富美夫会員(砺波 RC)、荒井進会員(南砺 RC)
5. 月誕生日…斉藤清策会員(14日)
6. 月結婚記念日…三角信行会員(5日)、山水孝信会員(6日)、斉藤彰会員(8日)、小林長会員(28日)



7. 会長の時間…上田会長「4月、年度替わりです。異動の時期です。桜の花が咲いてきましたが、南砺市は選挙で大変です。後ほど、浅田会員・山本会員・河合会員の推薦で、山辺美嗣さんが来会されますの

で、話を聞いてあげてください。」

8. 幹事の時間…河合幹事「①7日、GSE 訪問です。会長・副会長が五箇山・井波・横山豊介アトリエほかを案内されます。②11日観桜会。③18日良い歯の日キャンペーン。④29日、南砺の山々を守ろうの会が閑乗寺で植樹をします。井波庄川ロータリークラブが協賛します。⑤5月19日、5RC 親睦ゴルフが小矢部 RC のホストで千羽平であります。⑥5月20日は羽咋で地区協があります。それぞれ、よろしくお願いいたします。⑦今度の例会から、SAA より、ロータリーの綱領の朗読の発声をしてもらいますので、ご唱和ください。」

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹(こすい)し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- (1) 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- (2) 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を品位あらしめること。
- (3) ロータリアン全てが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用する

こと。

- (4) 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職種に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

9. その他：山辺美嗣氏（富山県議候補者）の砺波地方の発展に向けた熱い思いを込めたご挨拶がありました。最後に、会員一人一人に、握手をしていかれました。



10. 次年度役員委員名簿発表…三角会長エレクト



一覧表を後述します。（右に記載）

11. ニコニコ BOX

ニコニコBOX(本日7名)

河合幹事…4月29日閑乗寺の植樹よろしく。

斉藤副会長…結婚祝お礼、早退お詫び。

小林会員…結婚祝お礼。

村松会員…早退お詫び、観桜会31名参加予定です。

三角会員…結婚祝お礼。

浅田会員…ご無沙汰お詫び。

山本会員…娘の付き添いで岡山まで全国スボ少剣道交流大会に行ってきました。予選で優勝した地元岡山県とあたり、負けて決勝へ進めませんでした。良い歯の日キャンペーンよろしくをお願いします。

2007-2008年度役員・所属委員会予定

会長	三角 信行	
副会長	川那辺利一	理事
幹事	水島 政光	
副幹事	坂井 彦就	
会計	浅田 裕二	
S.A.A.	高瀬 顕正	ニコ BOX
会長エレクト	小西 勝	理事

クラブ奉仕委員長	斉藤 彰	理事
①会員増強	斉藤 彰	
②雑誌・広報	山本 武夫	理事
③会報	村松 弘	
④親睦活動	福嶋 慶子	
⑤出席	河合 耕一	理事
⑥プログラム	河合 耕一	
⑦IT	山本 武夫	
職業奉仕委員長	横山 幹	理事
社会奉仕委員長	三谷 貴志夫	理事
国際奉仕委員長	上田 昭二	理事
新世代委員長	坂井 彦就	
ロータリー財団	助田 幸雄	
第3分区委員会委員	横川 正希	(再任)

12. その他(例会では時間がなく紹介されませんでした)

①「北日本新聞記事(3月26日号):『来月29日井波で植樹祭』南砺の山々を守る実行委員会 参加者を募集」

②「北日本新聞記事:『和風やモダン庭園提案』南砺市園芸植物園 ガーデニングフェア」…(前略)新樹造園は、桂離宮に用いられている桂垣を背景に配置。モウソウ竹に、彫刻家、横山豊介氏＝同市本町(井波)＝のオブジェを置いた。…(後略)

「新聞記事:『創意あふれるミニ庭園展示』南砺市でフェア」…(前略)新樹造園は、背景に割竹や竹の皮を組み合わせて造った、手間の掛かる竹垣を用意。また、同市の彫刻家・横山豊介さんの母と子をイメージしたと思われる彫刻オブジェも置き、空間にアクセントを添えている。…(後述)

卓話「雑誌月間にちなんで」山本武夫雑誌・広報・会報・IT委員長



(卓話内容)

去る3月24日(土)高岡商工ビルにて、2610地区第2回雑誌委員長会議が開催され、出席してきましたので、報告を兼ねて、本日の雑誌月間にちなんでの卓話とします。

金森米男地区雑誌委員長、荒井公夫ガバナーの挨拶の後、「ロータリーの友 ホームページの活用」と題して、雑誌ロータリーの友編集長の二上典子氏が講演をされました。

本日の例会の卓話が予定されてましたので、しっかり伝達しようと聞いてきましたが、ロータリーの友4月号を見てがっかりしました。聞いた内容がそのまま記事になっていました。考えてみればロータリーの友編集長が講演されるわけですから。したがって、本日の卓話も簡略にさせていただき、詳しくは4月号の横書き p.5~13を後ほど、是非詳しくお読みください。

【講演抄録】

ロータリーには、二つの友があります。一つは、雑誌『ロータリーの友』、もう一つは、雑誌ウェブ(友のホームページ)で、これらに是非親しんでいただきたい。

ロータリーには、“THE ROTARIAN”という、唯一RIの機関雑誌と、『ロータリーの友』のような30の地域雑誌があり、これらを31の『ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS』といい公式誌です。

各地域雑誌に決められている事がありますが、それは、必ずRI指定記事を掲載しなければならないことです。それにより、ロータリアンは一つになれます。“THE ROTARIAN” Vince Aversano 編集長は、次のように言

っています。「全世界のロータリアンが同じ記事を読むことができるということは、それを読んでロータリアンが自分は国際組織の一員なのだと感じることが出来ます。」

「ロータリーの友」は、1953年1月創刊されましたが、これは、前年7月に日本のロータリーが東西に分かれ、情報の共有を続けるという意味で、「友」ができました。横書きにするか縦書きにするかは、全会員のアンケートで、当時珍しい横書きに多数で決定したそうです。その後、俳句や短歌など会員投稿などで不都合が出たため、現在のように縦横、両方からの読める形態に変更されました。これは、30ある地域雑誌でも他にはありませんでしたが、日本の編集形態がいいと、豪州・ニュージーランドの『ROTARY DOWN UNDER』は、縦にひっくり返しても読める形態に模倣したそうです。

皆さんご承知の通り「横組み」は、ロータリーの特別月間に合わせた特集記事、国際ロータリー(RI)の重点項目や日本のロータリアンの関心事項などに関する特集、RI指定記事(『THE ROTARIAN』からの転載)などで構成されています。「縦組み」は、日本のロータリアンのコミュニケーションならびに情報交換を目的に、主に投稿記事で構成されています。

ロータリーの雑誌ができる過程について、『THE ROTARIAN』と「ロータリーの友」を簡単に比較しますと、前者は取材が中心で、プロのカメラマンが写真を撮影して記事を掲載しており、後者は、投稿が中心です。各クラブで、友のRI指定記事の写真を会報等には無断で引用しないでください。著作権があります。もし、掲載したいようでしたら、『友』事務所に連絡ください。そして、出典を必ず明記してください。

「ロータリーの友」は、投稿中心ですが、採用にはいろいろ条件があります。例えば写真では、集合写真でなく、会員が活動している様子とか、子供たちと触れ合っている現場が伝わってくるものが望ましいです。原稿では、いくつも羅列より、ポイントを絞って掘り下げて書いてあったほうが望ましいです。読者はあなたのRCの事を知らないのです。必ず活動年月日を入れてください。旬がありますので、なるべく1ヶ月以内のものを望みます。

ロータリーの友のホームページは、2003年7月1日に開設、内容が大変盛りだくさんです。そこからほとんどのロータリーの情報が得られます。月間『友』では間に合わない速報性の高いロータリーニュースや、掲載しきれない写真などを載せています。各クラブのHPにリンクしています。また、メイキャップしやすいように各クラブの例会一覧表も掲載しております。是非、ゆっくり覗いてください。

HP のアドレス <http://www.rotary.or.jp>

②GSE 来訪特集

去る4月7日（土）フランスより、GSE（一行4名：外通訳1名）の訪問が、砺波 RC と井波庄川 RC にありました。当日午前中、上田会長と斉藤副会長が、砺波 RC の柴田会員の通訳で、白川郷から始まり、井波散策に付き合われました。井波では、横山豊介会員のアトリエを訪問され、また、八日町通りから瑞泉寺にかけてゆっくり見学されました。一行は、夜、砺波ニチマホテルでの、砺波 RC の夜間例会（例会変更）に出席されました。

訪問された GSE のメンバーは、ジャン・マリー・フェベル（ポンタ・ムーリン RC、2003-2004 年会長：建築設計）をチームリーダーとし、ソフィー・ルイさん（交通教育）、サイード・アバリ氏（法務：子供の人権福祉）、エマニエル・T・ドゥシャールさん（美術館）の4名です。この2-3週間の間、2610 地区（石川・富山）のいくつかのクラブを訪問されます。



井波中央の広場にて



瑞泉寺山門前にて



瑞泉寺本堂前にて

【編集後記】

久しぶりに、例会に出席しました。長い間出ないと、懐かしいという気持ちが湧いたのは、ロータリーの一員として少しは嬉しい気がしました。

今回の例会は、大変盛りだくさんでした。県議会選挙や、ガーデニングフェア、植樹祭などもう少しポイントを掘り下げて時間をとっていい話題がありましたが、時間の関係で、雑誌月間ということで、一番味気ないものに時間を費やしてしまい、会員の皆さんには申し訳なく思っております。

先月末、岡山に行って桜を見てきましたが、戻って見るとこちらもいよいよシーズンということで、観桜会が楽しみです。蕾も桜、満開も桜、散っても桜、どの桜も同じ桜、日本人は、もちろん私も含めて、この短い間に、様々な思いを桜に寄せるきわめて多感な人種のようなのです。

次号は、観桜会を載せたいと思います。

（山本武夫）